

4. ASEANにおける企業ニーズを見据えた

特許付与の国際的フレームワーク提言

我が国企業の ASEAN に対する製造拠点及び市場としての期待が高まりつつあり、今後は多数の ASEAN 加盟国において特許権を取得する必要性が向上すると見込まれているところ、手続工数、翻訳費用、審査実務の相違といった手続負担の解消に加えて、審査の適時性の改善や各国審査機関における審査能力の向上を実現する特許付与の国際的フレームワークの構築が望まれている。そこで、本報告書は、複数のフレームワークを提言すると共に、各フレームワーク提言について、企業ニーズに対する評価とその実現可能性について検証を行う。

<担当講師>

濱野 隆 特許庁 審査第一部応用光学（光学要素・EL 素子）
前任上席審査官

<グループメンバー（塾生）>

大谷 寛 大野総合法律事務所 弁理士

唐川 勝吉 株式会社リコー 法務・知財本部

佐竹 勝一 中村合同特許法律事務所 弁護士

藤原 英雄 武田薬品工業株式会社 知的財産部

山崎 利直 特許庁 総務部国際政策課 課長補佐